

第 3 8 1 回 幹 事 会
公 開 審 議 事 項

令和 7 年 2 月 2 7 日

日 本 学 術 会 議

公 開 審 議 事 項

件名・議案	提案者	資料 (頁)	提案理由等 (※シンポジウム等、後援関係については概要を記載)	説明者	根拠規定等
-------	-----	-----------	------------------------------------	-----	-------

Ⅲ 公開審議事項

1. 委員会関係

提案 1	(分野別委員会) (1)運営要綱の一部改正(構成変更 1 件) (2)分科会委員の決定(新規 1 件、追加 3 件)	(1)基礎医学委員会委員長 (2)第二部長、第三部長	4	分科会の構成変更に伴い、運営要綱を一部改正するとともに、分野別委員会における分科会委員を決定する必要があるため。	第二部長、第三部長	(1)会則27条 1 項 (2)内規18条
------	--	-------------------------------	---	--	-----------	--------------------------

2. 提言等関係

提案 2	提言「生成 AI を受容・活用する社会の実現に向けて」について日本学術会議会則第 2 条第 3 号の「提言」として取り扱うこと	情報学委員会委員長	別冊	情報学委員会において、提言を取りまとめたので、関係機関等に対する提言として、これを外部に公表することとした。 ※科学的助言等対応委員会査読	情報学委員会黒橋禎夫幹事	内規 2 条 5 項
------	---	-----------	----	--	--------------	------------

3. 協力学術研究団体関係

提案 3	日本学術会議協力学術研究団体を指定すること	科学者委員会委員長	7	日本学術会議協力学術研究団体への新規申込のあった下記団体について、科学者委員会の意見に基づき、指定することとしたい。 ①特定非営利活動法人 日本電磁波エネルギー応用学会 ②一般社団法人 日本神経理学療法学会 ③日本社会関係学会 ④大学地域連携学会 ⑤日本ホリスティック教育/ケア学会 ⑥全国看護管理・教育・地域ケアシステム学会 ⑦統計関連学会連合 ⑧日本フェミニスト経済学会 ※令和 7 年 2 月 27 日現在 2,193 団体（上記申請団体を含む）	三枝副会長	会則36条
------	-----------------------	-----------	---	---	-------	-------

4. 国際関係

提案 4	令和 6 年度代表派遣について、実施計画を変更すること	会長	9	令和 6 年度代表派遣について、実施計画を変更する必要があるため。	日比谷副会長	国際交流事業の実施に関する内規 21 条
提案 5	令和 7 年度代表派遣について (1)代表派遣実施計画の決定 (2)実施計画に基づく 4－9 月期の会議派遣者の決定	会長	10	令和 7 年度代表派遣について、代表派遣実施計画の決定をするとともに、実施計画に基づき 4－9 月期の会議派遣者を決定する必要があるため。	日比谷副会長	(1)国際交流事業に関する内規 18 条 (2)同内規 19 条 2 項

提案 6	令和 8 年度共同主催 国際会議候補の決定 について	会長	16	共同主催の申請があった令和 8 年度開催 の国際会議について、国際委員会国際会 議主催等検討分科会の審議に基づき、以 下の 6 件を候補として決定したい。 ・第 41 回世界獣医師会大会 ・第 22 回国際内分泌学会議 ・第 37 回半導体物理国際会議 ・第 32 回国際園芸学会議 ・第 10 回国際窒素会議 ・第 7 回 iLEAPS オープンサイエンス会議 2027 ※国際委員会 2 月 19 日承認、同国際会議 主催等検討分科会 1 月 22 日決定 ※最終的には開議口頭了解をもって正式 決定	日比谷 副会長	国際学術交 流事業に関 する内規 34 条第 1 項
提案 7	令和 7 年度アジア学 術会議に関する国際 会議等への代表者の 派遣の基本方針を決 定すること	会長	17	令和 7 年度アジア学術会議に関する国際 会議等への代表者の派遣について、基本 方針を決定する必要があるため。	日比谷 副会長	国際学術交 流事業に関 する内規 56 条準用
提案 8	令和 7 年度フュー チャー・アースに関 する国際会議等への 代表者の派遣の基本 方針を決定すること	会長	19	令和 7 年度フューチャー・アースに関 する国際会議等への代表者の派遣につい て、基本方針を決定する必要があるた め。	日比谷 副会長	国際学術交 流事業に関 する内規 56 条

5. シンポジウム等

提案 9	公開シンポジウム 「教育改革と可視化 ー生成 AI の普及と向 き合う AI・データサ イエンス教育」の開 催について	総合工学委員会 委員長	21	主催：日本学術会議総合工学委員会科学 的知見の創出に資する可視化分科会 日時：令和 7 年 4 月 12 日（土）14：00～ 17：00 場所：大阪成蹊大学駅前キャンパスこみ ちホール（大阪府大阪市）（ハイブリッ ド開催） ※第三部承認	—	内規別表第 2
提案 10	公開シンポジウム 「心腎代謝症候群 （CKMS）について多 角的に考察する～産 官学による CKMS 対策 に関する政策提言に 向けて～」の開催に ついて	臨床医学委員会 委員長	23	主催：日本学術会議臨床医学委員会循環 器・腎・代謝内分泌分科会 日時：令和 7 年 4 月 27 日（日）14：05～ 16：05 場所：佐賀大学医学部臨床大講堂（佐賀 県佐賀市）（ハイブリッド開催） ※第二部承認	—	内規別表第 2
提案 11	公開シンポジウム 「第 37 回環境工学連 合講演会」の開催に ついて	環境学委員会委 員長	25	主催：日本学術会議環境学委員会環境科 学・環境工学分科会 日時：令和 7 年 5 月 27 日（火）10：00～ 17：30 場所：日本学術会議講堂 ※第三部承認	—	内規別表第 2

6. 後援

提案 12	国内会議の後援をす ること	会長	29	以下について、後援の申請があり、関係 する部に審議付託したところ、適当であ る旨の回答があったので、後援すること としたい。 ・第 6 回世界エンジニアリングデー記念 シンポジウム	—	後援名義使 用承認基準 3(2)ウ
-------	------------------	----	----	---	---	-------------------------

7. その他

件名		資料(頁)
参考	今後の予定 今後の幹事会及び総会の日程につきご確認ください。次回幹事会は3月31日（月）14:30～に開催予定。	30

分野別委員会運営要綱（平成26年8月28日日本学術会議第199回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改正後					改正前				
別表第1					別表第1				
分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間	分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
基礎医学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	基礎医学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	基礎医学委員会IUPS分科会	1. 生理科学研究における学術的国際連携に関する事項 2. 国際学術団体であるIUPS及びFAOPSの活動への参画に関する事項	15名以内の会員又は連携会員	令和5年10月1日～令和8年9月30日		基礎医学委員会IUPS分科会	1. 生理科学研究における学術的国際連携に関する事項 2. 国際学術団体であるIUPS及びFAOPSの活動への参画に関する事項	10名以内の会員又は連携会員	令和5年10月1日～令和8年9月30日
	(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

基礎医学委員会分科会の設置について

分科会等名：IUPS 分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	基礎医学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	生理科学は、生体機能のメカニズムを分子・細胞・臓器・生体システムの各階層において、また階層間を連結して理解することを目指す学術分野である。国際生理科学連合 (International Union of Physiological Sciences : IUPS) は、生理科学の様々な分野を統括する国際学術団体であり、日本は 1953 年の IUPS 設立当初から欧米諸国とともに中心的な役割を果たしてきた。日本は、これまでに、IUPS コンgressを 2 回 (1965 年、2009 年) 主催し、また、IUPS の下部組織であるアジア・オセアニア生理学会連合 (Federation of Asian and Oceanian Physiological Societies : FAOPS) のコンgressを 2019 年に主催した。さらに、現在、日本から IUPS に第 2 副理事長と理事を、FAOPS に事務局長を輩出し、その運営に活発に参画している。 我が国の生理科学のさらなる発展と国民への成果還元のために、国際連携と学際協力の舞台となる IUPS への持続的な参画と貢献が必要不可欠であり、基礎医学委員会のもとに IUPS 分科会の設置を提案するものである。
4	審議事項	1. 生理科学研究における学術的国際連携に関する事項 2. 国際学術団体である IUPS 及び FAOPS の活動への参画に係る審議に関する事項
5	設置期間	令和 5 年 10 月 1 日 ～ 令和 8 年 9 月 30 日
6	備考	※委員の構成の変更 (10 名から 15 名に変更)

【分野別委員会】

○分科会委員の決定（新規1件）

（臨床医学委員会・基礎医学委員会合同法医学分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
西谷 陽子	京都大学大学院医学研究科法医学講座教授	第二部会員
鮎澤 純子	九州大学大学院医学研究院准教授／九州大学病院病院長補佐	連携会員
末松 誠	公益財団法人実中研所長	連携会員
田中 純子	広島大学理事・副学長／特任教授	連携会員
橋本 優子	福島県立医科大学医学部病理病態診断学講座主任教授	連携会員
藤田 眞幸	慶應義塾大学医学部教授	連携会員
増田 しのぶ	日本大学医学部病態病理学系腫瘍病理学分野教授	連携会員
松本 博志	大阪大学大学院医学系研究科教授	連携会員

【設置：第361回幹事会（令和6年1月25日）、決定後の委員数：8名】

○分科会委員の決定（追加3件）

（基礎生物学委員会・統合生物学委員会・基礎医学委員会合同ゲノム科学分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
江口 真理子	愛媛大学大学院医学系研究科小児科学教授	連携会員

【設置：第360回幹事会（令和5年12月22日）、追加決定後の委員数：17名】

（地球惑星科学委員地球・人間圏分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
寶 馨	国立研究開発法人防災科学技術研究所理事長／京都大学名誉教授	連携会員

【設置：第360回幹事会（令和5年12月22日）、追加決定後の委員数：33名】

（化学委員会生体関連化学分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
三浦 佳子	九州大学大学院工学研究院化学工学部門教授	第三部会員
秋吉 一成	京都大学大学院工学研究科特任教授	連携会員

【設置：第363回幹事会（令和6年2月29日）、追加決定後の委員数：13名】

日本学術会議協力学術研究団体の新規指定について

	団体名	概 要
1	特定非営利活動法人 日本電磁波エネルギー応用学会 (https://www.jemea.org/)	本団体は、研究者、技術者及び一般市民に対して、電磁波エネルギーの応用に関する科学技術の調査・研究、情報の収集・発信、知識の交換に係る事業、電磁波エネルギーの応用に関する科学技術の促進、知識の普及、提言に係る事業、電磁波エネルギーの応用に係る安全に関する知識の普及に関する事業を行い、電磁波エネルギーの応用に関する基礎的研究及びその応用技術の進歩並びに知識の普及を図り、もって学術文化の進歩普及、産業の発展及び生活の向上に寄与することを目的とするものである。
2	一般社団法人 日本神経理学療法学会 (https://www.jspt.or.jp/jsnpt/)	本団体は、日本神経理学療法に関する知識の普及、学術文化の向上に関する事業を行い、医療及び社会福祉の充実に寄与することを目的とするものである。
3	日本社会関係学会 (https://www.jipps.org/jasr/)	本団体は、社会関係の理論的、実証的な研究を発展させるため、異なる分野の研究者の交流の場を提供するとともに、研究者、実践家、政策担当者などの交流を促し、もって社会関係に関する系統的な研究の発展と教育の普及に資することを目的とするものである。
4	大学地域連携学会 (https://reg-coop.org/)	本団体は、国内外の大学地域連携学の研究交流を通じて、その研究と実践に資することを目的とするものである。

5	日本ホリスティック教育/ケア学会 (https://holistic-edu-care.jimdoweb.com/)	本団体は、教育やケアへのホリスティックなアプローチ、およびホリスティックな志向をもつ教育やケアに関する研究を推進し、もってわが国の学術の発展に寄与することを目的とするものである。
6	全国看護管理・教育・地域ケアシステム学会 (https://www.caresystem1999.com/)	本団体は、全国の看護教育に携わる教員、または臨地で実践している看護専門職等が、相互に意見交換、情報の共有化を図り、看護管理・看護教育・地域ケアシステムに関する学会抄録および学術論文誌「看護・保健科学研究誌」の発行等により、保健医療福祉の増進に寄与することを目的とするものである。
7	統計関連学会連合 (http://www.jfssa.jp/)	本団体は、統計科学の発展・普及を目的とし、統計関連学会が連合して、各種共同事業を推進することを目的とするものである。
8	日本フェミニスト経済学会 (https://jaffe.fem.jp/)	本団体は、専門領域をこえて、フェミニスト経済学の学際的な発展をめざし、そのための研究および情報交換を行うことを目的とするものである。

令和 6 年度代表派遣実施計画の変更について

以下のとおり、令和 6 年度代表派遣実施計画の変更を行う。

	会議名称	会 期	開催地/ 形式等	派遣候補者 (職名)	推 薦	内 容
1	サイエンス 20 (S20) 2025 発足会合	令和 7 年 2 月 25 日 ～ 2 月 27 日	プレトリア (南アフリカ)	日比谷 潤子 第一部会員 (国際基督教大学名誉教授)	国際委員会	・代表派遣の取りやめ ※実施計画については第 378 回 幹事会 (令和 6 年 12 月 20 日) にて承認済み。
2	アジア科学アカデミー・ 科学協会連合 (AASSA) 特別委員会 (サステイナビリティ)	未定	未定	—	国際委員会	・代表派遣の取りやめ ※令和 6 年度内に開催されない ため。 ※実施計画については第 363 回 幹事会 (令和 6 年 2 月 29 日) に て承認済み。

令和 7 年度代表派遣実施計画（案）

<第 1 区分>

番号	会 議 名	会 期	開 催 地	派遣人数
1	国際科学史技術史科学基礎論学会連合/ 科学史技術史部門（IUHPST/DHST）評議 会及び総会	2025/6/29～2025/7/5	ダニーデン （ニュージーランド）	1
2	第 53 回国際純正・応用化学連合（IUPAC） 総会及び第 50 回世界化学会議	2025/7/12～2025/7/19	クアラルンプール （マレーシア）	1
3	国際栄養学会議（ICN）総会	2025/8/24～2025/8/29	パリ （フランス）	1
4	太陽地球系物理学・科学委員会 （SCOSTEP）総会	2025/8/31～2025/9/5	リスボン （ポルトガル）	1
5	第 40 回国際生理科学連合コンGRES （IUPS）2025 及び総会	2025/9/11～2025/9/14	フランクフルト （ドイツ）	1
6	科学技術データ委員会（CODATA）総会及 び International Data Week 2025	2025/10/13～2025/10/18	ブリスベン （オーストラリア）	1
7	海洋研究科学委員会（SCOR）年次総会	2025/10/28～2025/10/31	サンタマルタ （コロンビア）	1
8	第 26 回 アジア社会科学研究協議会連 盟（AASSREC）総会	2025/12/2～2025/12/5	ニューデリー （インド）	1
9	インターアカデミーパートナーシップ （IAP）総会 2025	2025/12/8～2025/12/11	カイロ （エジプト）	1
				9

<第 2 区分>

番号	会 議 名	会 期	開 催 地	派遣人数
1	太陽地球系物理学・科学委員会 （SCOSTEP）理事会	2025/4/27～2025/5/3	ウィーン （オーストリア）	1
2	国際土壌科学連合（IUSS）第 1 部門国際 会議「私たちの未来を創る土壌」	2025/7/20～2025/7/25	ウィニペグ （カナダ）	1
3	南極研究科学委員会（SCAR）役員会	2025/8/5～2025/8/8	ワルシャワ （ポーランド）	1
4	第 32 回国際地図学会議（ICC）シンポジウ ム	2025/8/16～2025/8/22	バンクーバー （カナダ）	1
5	国際電波科学連合（URSI）アジア・太平洋 電波科学会議 2025	2025/8/17～2025/8/22	シドニー （オーストラリア）	1
6	第 82 回国際地質科学連合（IUGS）理事会 及び執行理事事務局会議	2026/3/17～2026/3/20	パリ （フランス）	1
7	国際北極科学委員会（IASC）北極科学サ ミット週間 2026	2026/3/27～2026/4/2	オーフス （デンマーク）	1
				7

<第3区分>

番号	会 議 名	会 期	開 催 地	派遣人数
1	Gサイエンス学術会議 2025	2025/5/6～2025/5/8	オタワ —— (カナダ)	1
2	第 15 回グローバルヤングアカデミー (GYA) 総会	2025/6/8～2025/6/14	ハイデラバード —— (インド)	2
3	国際宗教学宗教史学会 (IAHR) 理事会及 び第 23 回世界会議	2025/8/24～2025/8/30	クラクフ —— (ポーランド)	1
4	国際地球電磁気学・超高層大気物理学協 会 (IAGA) 執行役員会及び各国代表者会 議	2025/8/31～2025/9/5	ポルトガル —— (リスボン)	1
5	第 15 回アカデミー及び学術団体の国際 人権ネットワーク (IHRN) 隔年総会	2025/9/9～2025/9/11	オスロ —— (ノルウェー)	1
6	国際地形学会 (IAG) 地域大会及び役員会	2025/9/15～2025/9/18	ティミショアラ —— (ルーマニア)	1
7	気候と海洋-変動・予測可能性・変化研究 計画 (CLIVAR) 全体会合	2025/9/22～2025/9/26	バリ —— (インドネシア)	1
8	国際宝石学会 (IGC) 及び国際鉱物学連合 (IMA)・IMA 宝石物質コミッションビジネ ス会議	2025/10/20～2025/10/24	アテネ —— (ギリシャ)	1
9	世界人類学連合 (WAU) 2025 年会議	2025/11/1～2025/11/9	アンティグア —— (グアテマラ)	1
10	宇宙空間研究委員会 (COSPAR)・プログラ ム委員会・科学諮問委員会	2026/3/16～2026/3/19	パリ —— (フランス)	1
11	世界科学フォーラム 2026 (WSF) 運営委員 会	2025 年 5 月～6 月頃	未定 —— (未定)	1
12	サイエンス 20 (S20) 2025	2025 年 9 月頃	未定 —— (南アフリカ)	1
13	Gサイエンス学術会議 2026	2026 年 3 月頃	パリ —— (フランス)	1
14	アジア科学アカデミー・科学協会連合役 員会	未定	未定 —— (未定)	1
				15

令和7年度代表派遣実施計画に基づく会議派遣者の決定について

以下のとおり、令和7年度代表派遣実施計画に基づく4-9月期の会議派遣候補者の決定を行う。

番号	会議名称	会 期	開催地/ 形式等	派遣候補者 (職名)	推 薦	内 容
1	太陽地球系物理学・科学委員会(SCOSTEP)理事会	4月27日 ～ 5月3日	ウィーン (オーストリア)	石井 守(※1) — (国立研究開発法人情報通信研究機構電磁波研究所・総括研究員／名古屋大学宇宙地球環境研究所特任教授)	地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会	・派遣者の決定 ※現地出席予定
2	G サイエンス学術会議2025	5月6日 ～ 5月8日	オタワ (カナダ)	光石 衛 会長、第三部会員 (独立行政法人大学改革支援・学位授与機構理事／東京大学名誉教授)	国際委員会	・派遣者の決定 ※現地出席予定
3	世界科学フォーラム2026(WSF)運営委員会	5月 ～ 6月頃	未定 (未定)	日比谷 潤子 副会長、第一部会員 (国際基督教大学名誉教授)	国際委員会 ISC 等分科会	・派遣者の決定 ※現地出席予定
4	第15回グローバルヤングアカデミー(GYA)総会	6月8日 ～ 6月14日	ハイデラバード (インド)	小野 悠 連携会員 (豊橋技術科学大学准教授)	若手アカデミー	・派遣者の決定 ※現地出席予定

5	第15回グローバルヤングアカデミー(GYA)総会	6月8日 ～ 6月14日	ハイデラバード (インド)	標葉 隆馬 連携会員 (大阪大学准教授)	若手アカデミー	・派遣者の決定 ※現地出席予定
6	国際科学史技術史科学基礎論学会連合/化学史技術史部門(IUHPST/DHST)評議会及び総会	6月29日 ～ 7月5日	ダニーデン (ニュージーランド)	橋本 毅彦 連携会員 (東京大学名誉教授)	史学委員会IUH PST分科会	・派遣者の決定 ※現地出席予定
7	第53回国際純正・応用化学連合(IUPAC)総会及び第50回世界化学会議	7月12日 ～ 7月19日	クアラルンプール (マレーシア)	所 裕子 連携会員 (筑波大学数理物質系教授)	化学委員会 IUPAC 分科会	・派遣者の決定 ※現地出席予定
8	国際土壌科学連合(IUSS)第1部門国際会議「私たちの未来を創る土壌」	7月20日 ～ 7月25日	ウィニペグ (カナダ)	小崎 隆 連携会員 (愛知大学国際問題研究所名誉教授)	農学委員会・食料科学委員会合同 IUSS 分科会	・派遣者の決定 ※現地出席予定
9	南極研究科学委員会(SCAR)役員会	8月5日 ～ 8月8日	ワルシャワ (ポーランド)	中村 卓司 第三部会員 (大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所教授)	地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会	・派遣者の決定 ※現地出席予定
10	第32回国際地図学会議(ICC)シンポジウム	8月16日 ～ 8月22日	バンクーバー (カナダ)	石川 徹 連携会員 (東洋大学情報連携学部教授)	地球惑星科学委員会IGU 分科会	・派遣者の決定 ※現地出席予定

11	国際電波科学連合 (URSI)アジア・太平洋 電波科学会議 2025	8月 17 日 ～ 8月 22 日	シドニー (オーストラリア)	八木谷 聡 連携会員 (金沢大学理工研究域電子情報 通信学系教授)	電気電子工学委 員会 URSI 分科会	・派遣者の決定 ※現地出席予定
12	国際栄養学会議(ICN) 総会	8月 24 日 ～ 8月 29 日	パリ (フランス)	竹中 麻子 第二部会員 (明治大学農学部農芸化学科 教授)	食料科学委員会・ 農学委員会・健 康・生活科学委員 会合同 IUNS 委員 会	・派遣者の決定 ※現地出席予定
13	国際宗教学宗教史学 会 (IAHR) 理事会及び 第 23 回世界会議	8月 24 日 ～ 8月 30 日	クラクフ (ポーランド)	藤原 聖子 連携会員 (東京大学大学院人文社会系研 究科教授)	農学委員会・食料 科学委員会合同 IUSS 分科会	・派遣者の決定 ※現地出席予定
14	太陽地球系物理学・科 学委員会 (SCOSTEP) 総会	8月 31 日 ～ 9月 5 日	リスボン (ポルトガル)	塩川 和夫 連携会員 (名古屋大学宇宙地球環境研究 所所長/教授)	地球惑星科学委 員会地球惑星科 学国際連携分科 会	・派遣者の決定 ※現地出席予定
15	国際地球電磁気学・超 高層大気物理学協会 (IAGA)執行役員会及 び各国代表者会議	8月 31 日 ～ 9月 5 日	リスボン (ポルトガル)	能勢 正仁 (※1) — (名古屋市立大学データサイエン ス学部教授)	地球惑星科学委 員会 IUGG 分科 会	・派遣者の決定 ※現地出席予定
16	第 15 回アカデミー及び 学術団体の国際人権 ネットワーク(IHRN)隔年 総会	9月 9 日 ～ 9月 11 日	オスロ (ノルウェー)	未定	国際委員会科学 者に関する国際 人権対応分科会	・派遣者の決定 ※現地出席予定

17	第 40 回国際生理科学 連合コンgres (IUPS) 2025 及び総会	9月 11 日 ～ 9月 14 日	フランクフルト (ドイツ)	中條 浩一 連携会員 (自治医科大学医学部生理学講 座統合生理学部門教授)	基礎医学委員会 IUPS 分科会	・派遣者の決定 ※現地出席予定
18	国際地形学会(IAG)地 域大会及び役員会	9月 15 日 ～ 9月 18 日	ティミショアラ (ルーマニア)	小口 高 第三部会員 (東京大学空間情報科学研究セ ンター教授)	地球惑星科学委 員会 IGU 分科会	・派遣者の決定 ※現地出席予定
19	気候と海洋-変動・予測 可能性・変化研究計画 (CLIVAR)全体会合	9月 22 日 ～ 9月 26 日	バリ (インドネシア)	見延 庄士郎 連携会員 (北海道大学大学院理学研究院 教授)	環境学委員会・地 球惑星科学委員 会合同 FE・WCRP 合同分科会	・派遣者の決定 ※現地出席予定
20	サイエンス 20 (S20) 2025	9月頃	未定 (南アフリカ)	日比谷 潤子 副会長、第一部会員 (国際基督教大学名誉教授)	国際委員会	・派遣者の決定 ※現地出席予定

(注)

(※1) 当該派遣候補者は、連携会員(特任)に承認されることを条件とする。

令和8年度共同主催国際会議候補一覧

提案 6

○決定する6件(国際委員会国際会議主催等検討分科会決定、国際委員会承認)

No	会議名	主催団体	母体団体	期間	場所	参加予定者数 (全体)	参加予定者数 (国外)	参加予定者数 (国内)	参加予定国・ 地域数	間隔
1	第41回世界獣医師会大会	公益社団法人日本獣医師会	世界獣医師会	R8.4.21-24	東京 (東京国際フォーラム)	6,000人	1,000人	5,000人	70カ国・地域	毎年 [日本開催:31年振り2回目]
2	第22回国際内分泌学会議	国際内分泌学会、一般社団法人日本内分泌学会	国際内分泌学会	R8.6.2-6	京都 (国立京都国際会館)	6,500人	1,500人	5,000人	57カ国・地域	2年ごと [日本開催:26年振り3回目]
3	第37回半導体物理国際会議	ICPS2026組織委員会、日本物理学会、国際純粋・応用物理学連合	国際純粋・応用物理学連合	R8.8.16-21	東京 (京王プラザホテル)	800人	300人	500人	50カ国・地域	2年ごと [日本開催:26年振り4回目]
4	第32回国際園芸学会議	一般社団法人園芸学会、国際園芸学会	国際園芸学会	R8.8.23-28	京都 (国立京都国際会館)	2,000人	1,500人	500人	80カ国・地域	4年ごと [日本開催:32年振り2回目]
5	第10回国際窒素会議	国際窒素イニシアティブ、第10回国際窒素会議組織委員会	国際窒素イニシアティブ	R8.11.2-6	京都 (国立京都国際会館)	1,000人	400人	600人	25カ国・地域	3年ごと [日本初開催]
6	第7回iLEAPSオープンサイエンス会議2027	第7回iLEAPSオープンサイエンス会議2027実行委員会	統合陸域生態系-大気プロセス研究計画	R9.2.27-3.5	広島 (広島国際会議場)	500人	300人	200人	35カ国・地域	3~4年ごと [日本初開催]

●令和 7 年度アジア学術会議に関する国際会議等への代表者の派遣の基本方針（案）

〔 令 和 7 年 月 日 〕
〔 日本学術会議第 回幹事会決定 〕

アジア学術会議は、アジア域内での学術交流と協力を促進する基盤を提供し、全体論的な展望と構想を作り、その実現を諮ることを目的としており、その目的の達成は、アジア域内の各国において参加国間の連絡調整を行い、学術に関する研究発表及び討論等を行う会議を開催することにより行うこととなっている。

アジア学術会議においては、日本学術会議が事務局を担っていること、また、日本学術会議会員等が事務局長を務めていることから、令和 7 年度の国際会議等への代表者の派遣は下記の方針に基づいて行う。

(1) 第 1 区分

- ・アジア学術会議大会（国際シンポジウム、理事会、国際共同プロジェクト・ワークショップ等で構成）に、アジア学術会議事務局長を含む会員等を派遣する。

(2) 第 2 区分

- ・アジア学術会議の開催・運営に関する会議である、アジア学術会議役員会議等に、アジア学術会議事務局長を含む会員等を派遣する。
- ・次年度以降の開催準備に係る調整及び事前調査等に、アジア学術会議事務局長を含む会員等を派遣する。

(3) 第 3 区分

- ・アジア学術会議の加盟機関拡大のため、アジア学術会議事務局長を含む会員等を非加盟機関本部等に派遣する。

本基本方針に基づいて国際会議等への代表者の派遣を行う場合は、別添の様式にて事前に幹事会の議決に付すものとする。

令和7年度アジア学術会議関連会議等への代表者の派遣

番号	国際会議等	会 期		開催地及び用務地	派遣候補者 (職名)	備 考
			計			

●令和7年度フューチャー・アースに関する国際会議等への代表者の派遣の基本方針（案）

（ 令 和 7 年 月 日 ）
日本学術会議第 回幹事会決定

国際学術プログラムであるフューチャー・アースの推進を図るため、日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規（以下「内規」という。）に基づき、令和7年度におけるフューチャー・アースに関する国際会議等への代表者の派遣の基本方針を以下のとおり定める。

フューチャー・アースにおいては、国際事務局の一部として機能している日本ハブに対し、日本学術会議がその主要支持機関として関わっていること、また、日本学術会議連携会員が国際事務局日本ハブ事務局長を務めていることから、令和7年度の内規第55条の各区分における国際会議等への代表者の派遣は下記の考えに基づいて行う。

(1) 第1区分

- ・フューチャー・アースの国際的な推進体制の中心である総会（Assembly）、評議会（GC: Governing Council）及び国際事務局が行う会議へ国際事務局日本ハブ事務局長（連携会員）を含む会員等を派遣する。
- ・本年度、オンライン開催を含め、総会は1回程度、GC は4回程度、国際事務局会合は数回程度の開催が見込まれる。

(2) 第2区分

- ・フューチャー・アースの実施に当たり、国際事務局が行う会議へ国際事務局日本ハブ事務局長（連携会員）を含む会員等を派遣する。
- ・具体的には、日本学術会議の会員等がその推進に携わるグローバル研究ネットワーク（GRNs: Global Research Networks）に関する会議等への派遣を行う。
- ・上記については本年度それぞれ数回程度見込まれる。

(3) 第3区分

- ・フューチャー・アースに関する活動を広報周知するため、国際学術団体等が行う会議へ国際事務局日本ハブ事務局長（連携会員）を含む会員等を派遣する。
- ・上記に当たっては、国連の行う会議等の分野横断的、あるいは地域的な広がりがあるものを優先する。
- ・さらに、予算の状況に応じフューチャー・アースに関連するその他のグローバル研究ネットワーク（GRNs: Global Research Networks）に関する会議へ会員等を派遣する。

本基本方針に基づいて国際会議等への代表者の派遣を行う場合は、別添の様式にて事前に幹事会の議決に付すものとする。

令和7年度フューチャー・アースに関する国際会議等への代表者の派遣

番号	国際会議等	会 期		開催地及び用務地	派遣候補者 (職名)	備 考
			計			

公開シンポジウム
「教育改革と可視化ー生成 AI の普及と向き合う AI・データサイエンス教育」
の開催について

1. 主 催：日本学術会議総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会
2. 共 催：大阪成蹊大学
3. 後 援：なし
4. 日 時：令和 7（2025）年 4 月 12 日（土）14：00 ～ 17：00
5. 場 所：大阪成蹊大学駅前キャンパスこみちホール（大阪府大阪市東淀川区相川 1 丁目 3－7）（ハイブリッド開催）
6. 一般参加の可否：可
一般参加者の参加費の有無：無
7. 分科会等の開催：開催予定あり

8. 開催趣旨：

生成 AI が急速に普及する中、それに対応できる AI・データサイエンス教育の在り方を
討論する。本シンポジウムでは、生成 AI の社会実装と教育現場での活用可能性を中心に、
イノベーション人材育成のための具体的な教育手法や課題を探る。また、本テーマは夏に
開催予定の公開シンポジウムでの議論に向けた基盤として位置づけられる。

9. 次 第：

総合司会 水井 賢文（株式会社富士テクニカルリサーチ営業本部本社営業部本社営業室
主幹）

14:00 開会挨拶および趣旨説明

小山田 耕二（日本学術会議連携会員／大阪成蹊大学データサイエンス学部学科
長／教授）

14:30 基調講演

「教育改革と可視化ー生成 AI の普及と向き合う AI・データサイエンス教育」
已波 弘佳（関西学院大学副学長／教授）

16:00 パネル討論「AI と教育の未来：多様性を活かす教育手法の模索」

(モデレーター) 服部 翔大 (横河デジタル株式会社 DX/IT コンサルティング事業本部マネージャー)

(パネリスト) 筑本 知子 (日本学術会議連携会員／大阪大学レーザー科学研究所附属マトリクス共創推進センターセンター長／教授)

山辺 真幸 (一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科特任講師)

志村 祐康 (国立研究開発法人産業技術総合研究所エネルギー・環境領域再生可能エネルギー研究センター主任研究員)

林 宏樹 (雲雀丘学園中学校・高等学校教員)

藤井 茉美 (近畿大学理工学部電気電子通信工学科准教授)

17:00 閉会挨拶 筑本 知子 (日本学術会議連携会員／大阪大学レーザー科学研究所附属マトリクス共創推進センターセンター長／教授)

10. 関係部の承認の有無：第三部承認

11. 関係する委員会等連絡会議の有無：無

(下線の登壇者は、主催委員会委員)

公開シンポジウム

「心腎代謝症候群（CKMS）について多角的に考察する
～産官学による CKMS 対策に関する政策提言に向けて～」
の開催について

1. 主 催：日本学術会議臨床医学委員会循環器・腎・代謝内分泌分科会
2. 共 催：一般社団法人日本血管不全学会
3. 後 援：なし
4. 日 時：令和 7（2025）年 4 月 27 日（日）14：05 ～ 16：05
5. 場 所：佐賀大学医学部臨床大講堂（佐賀県佐賀市鍋島 5－1－1）（ハイブリッド開催）
6. 一般参加の可否：可
一般参加者の参加費の有無：無
7. 分科会等の開催：開催予定なし
8. 開催趣旨：

近年、心血管・腎・代謝症候群（Cardiovascular-Kidney-Metabolic Syndrome（CKM 症候群））という概念が提唱され、生活習慣の乱れや肥満を起点とした代謝異常、慢性腎臓病（CKD）、心血管疾患（CVD）との密接な関連が明らかになってきた。糖尿病や高血圧といった生活習慣病が、単独ではなく相互に影響を及ぼしながら重症化することが認識される中、従来の臓器ごとの個別管理ではなく、包括的な疾患管理の必要性が高まっている。本シンポジウムでは、循環器・腎臓・代謝の各専門領域の立場から、CKM 症候群の病態メカニズム、診断・治療の現状と課題、今後の研究・医療の方向性 について幅広く議論する。さらに、アカデミアとして本領域にどう貢献していくべきか、学際的な視点からの知見の共有を行う。

9. 次 第：

テーマ：産官学による心腎代謝症候群（CKMS）対策に関する政策提言に向けて

◇座長

野出 孝一（日本学術会議第二部会員／佐賀大学医学部長・内科主任教授）

佐藤 加代子（日本学術会議連携会員／東京家政大学栄養学部栄養学科教授）

- 14:05 「我が国の Cardio-Kidney-Metabolic Syndrome の現状と課題」
野出 孝一（日本学術会議第二部会員／佐賀大学医学部長・内科主任教授）（予定）
- 14:20 「腎臓学の視点から Cardio-Kidney-Metabolic Syndrome 対策を考える」
南學 正臣（日本学術会議連携会員／東京大学大学院医学系研究科教授）
- 14:35 「代謝学の視点から Cardio-Kidney-Metabolic Syndrome 対策を考える」
斯波 真理子（日本学術会議第二部会員／大阪医科薬科大学循環器センター特務教授）
- 14:50 「糖尿病学の視点から Cardio-Kidney-Metabolic Syndrome 対策を考える」
稲垣 暢也（日本学術会議連携会員／公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院理事長／京都大学名誉教授／京都大学大学院医学研究科特命教授）
- 15:05 「循環器学の視点から Cardio-Kidney-Metabolic Syndrome 対策を考える」
金子 英弘（日本学術会議連携会員（特任）／東京大学医学部先進循環器病学講座特任講師）
- 15:20 「社会的課題として捉える Cardio-Kidney-Metabolic Syndrome」
水野 篤（日本学術会議連携会員（特任）／聖路加国際病院医療の質管理室室長）
- 15:35 討論
- 16:05 閉会

10. 関係部の承認の有無：第二部承認

11. 関係する委員会等連絡会議の有無：無

（下線の講演者等は、主催分科会委員）

公開シンポジウム
「第 37 回環境工学連合講演会」
の開催について

1. 主 催：日本学術会議環境学委員会環境科学・環境工学分科会
2. 共 催：公益社団法人化学工学会、公益社団法人環境科学会、一般社団法人環境資源工学会、公益社団法人空気調和・衛生工学会、一般社団法人資源・素材学会、公益社団法人地盤工学会、一般社団法人静電気学会、公益社団法人大気環境学会、公益社団法人土木学会、日本 LCA 学会、公益社団法人日本化学会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本水道協会、公益社団法人日本セラミックス協会、一般社団法人日本鉄鋼協会、一般社団法人日本土壌肥料学会、公益社団法人日本分析化学会、公益社団法人日本水環境学会、一般社団法人廃棄物資源循環学会
(下線は幹事学会)
3. 後 援：なし
4. 日 時：令和 7 (2025) 年 5 月 27 日 (火) 10 : 00 ～ 17 : 30
5. 場 所：日本学術会議講堂（東京都港区六本木 7-22-34）（ハイブリッド開催）
6. 一般参加の可否：可
一般参加者の参加費：無
7. 分科会等の開催：環境学委員会環境科学・環境工学分科会環境工学連合小委員会を開催予定
8. 開催趣旨：
第 36 回講演会では、「持続可能で強靱な社会への変革に向けて」というテーマで、コロナ禍からの復興にあたって、発展する未来の実現のために環境工学が果たす役割について、各学協会から話題提供を頂いた。
本講演会では、前回からの流れも踏まえつつ、最近の重要課題であるカーボンニュートラルの社会実装、脱炭素社会の実現への道筋、エネルギー供給システムの在り方といった、新しい社会の構築に向けた取り組みに関する環境工学の研究について、それぞれの学協会から話題提供を頂ければと考えている。新社会の構築に向けて今後必要となる斬新な考え方や、抜本的な見直しとドラスティックな変革について、活発な討論の場を提供したく、講演会テーマを「先進サステナブル社会における環境工学の役割」とする。

9. 次 第：

【開会（10：00～10：10）】

○開会挨拶：北川 尚美（日本学術会議第三部副部長／東北大学大学院工学研究科教授）

【資源循環 1（10：10～11：10）】

◎座長：中井 智司（公益社団法人化学工学会／広島大学大学院先進理工系科学研究科教授）

A-01 招待講演：

「排水・廃棄物のアップサイクルによる価値創出型資源循環システムの構築：課題と機会」
寺田 昭彦（公益社団法人化学工学会／東京農工大学大学院工学研究院教授）

A-02 招待講演：

「サステナブル社会形成に必要なリサイクルの課題と対応策を支える研究と技術」
星野 岳穂（一般社団法人日本鉄鋼協会／東京大学大学院工学系研究科特任教授）

A-03 招待講演：

「排水マイニングで拓くサステナブル資源循環の展望と課題」
久保田 健吾（公益社団法人土木学会／東北大学大学院環境科学研究科准教授）

【資源循環 2（11：20～12：20）】

◎座長：小林 優（一般社団法人日本土壌肥料学会／京都大学大学院農学研究科准教授）

A-04 招待講演：

「(仮) サーキュラービジネスモデルによる廃プラスチックの回収・再資源化の評価」
菊澤 育代（一般社団法人廃棄物資源循環学会／一般社団法人 Aluten（アルテン）代表理事）

A-05 招待講演：

「メタン発酵を中核とした資源循環システムの構築（仮）」
中村 真人（一般社団法人日本土壌肥料学会／国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構地域資源利用・管理グループ上級研究員）

A-06 招待講演：

「遷移金属触媒を用いる二酸化炭素資源化反応」
村田 慧（公益社団法人日本化学会／国立研究開発法人理化学研究所環境資源科学研究センター理研 ECL 研究ユニットリーダー）

【特別講演（13：30～14：00）】

◎座長：調整中

S-01 基調講演：松山 智哉（一般社団法人日本機械学会／三機工業株式会社）

「テクノロジーと自然の調和による 2050 年の持続可能な社会の展望」
山崎 美稀（一般社団法人日本機械学会／株式会社日立ハイテク）

【地球環境・生活環境 1（14:10～15:50）】

◎座長：小瀬 博之（公益社団法人空気調和・衛生工学会／東洋大学総合情報学部総合情報学科教授）

P-01 招待講演：

「脱炭素社会に向けた市民の行動変容に対する情報提供のあり方」

栗栖 聖（日本水環境学会／東京大学大学院工学系研究科准教授）

P-02 招待講演：

「建築物の環境性能の見える化による SDGs 達成への貢献」

林 立也（公益社団法人空気調和・衛生工学会／千葉大学大学院工学研究院准教授）

P-03 招待講演：

「（仮）空間情報技術を用いた環境評価」

山本 佳世子（環境科学会／日本学術会議連携会員／電気通信大学大学院情報理工学研究科教授）

P-04 招待講演：

「大気中の温室効果ガスの濃度変化」

向井 人史（公益社団法人大気環境学会／国立研究開発法人国立環境研究所地球環境研究センターフェロー）

P-05 招待講演：

「サステナブル社会の実現に向けた技術の社会経済性評価の視点」

尾下 優子（日本 LCA 学会／東京大学未来ビジョン研究センター特任講師）

【地球環境・生活環境 2（16:00～17:20）】

◎座長：加用 千裕（日本 LCA 学会／東京農工大学グローバルイノベーション研究院教授）

P-06 招待講演：

「「ビジネスと人権」規範と環境規範との相互作用（仮題）」

渡邊 絢子（一般社団法人資源・素材学会／一般社団法人環境資源工学会／秋田大学大学院国際資源学研究科助教）

P-07 招待講演：

「環境評価を支える分析化学」

大平 慎一（公益社団法人日本分析化学会／熊本大学大学院先端科学研究部教授）

P-08 招待講演：

「建設事業におけるサステナブルな自然由来重金属等対策」

門間 聖子（公益社団法人地盤工学会／応用地質株式会社技術本部技師長室技師長）

P-09 招待講演：

「In silico モデリングを基盤とした One-Health 研究」

伊藤 一秀（一般社団法人日本建築学会／日本学術会議連携会員／九州大学大学院総合理工学研究院環境理工学部門教授）

閉会（17：20～17：30）

○第 37 回環境工学連合講演会の総括

森口 祐一（日本学術会議第三部会員／環境学委員会委員長／国立研究開発法人国立環境
研究所理事（研究担当））

閉会挨拶

浅見 真理（日本学術会議連携会員／環境工学連合小委員会委員長／国立保健医療科学院
生活環境研究部上席主任研究官）

10. 関係部の承認の有無：第三部承認

11. 関係する委員会等連絡会議の有無：無

（下線の講演者等は、主催分科会委員）

○国内会議の後援（1件）

以下について、後援の申請があり、関係する部に審議付託したところ、適当である旨の回答があったので、後援することとしたい。

1. 第6回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム

主催：公益社団法人日本工学会

共催：公益社団法人日本工学会 CPD協議会、
公益社団法人日本工学会 科学技術人材育成コンソーシアム

期間：令和7年3月4日（火）

場所：オンライン開催（Zoom ウェビナー）

参加予定者数：約100名

申請者：公益社団法人日本工学会 会長 岸本 喜久雄

審議付託先：第三部

審議付託結果：第三部承認

○今後の予定

●幹事会

第 3 8 2 回幹事会	令和 7 年 3 月 3 1 日（月）	1 4：3 0 から
第 3 8 3 回幹事会	第 1 9 4 回総会期間中に開催予定	
第 3 8 4 回幹事会	令和 7 年 5 月 3 0 日（金）	1 4：3 0 から
第 3 8 5 回幹事会	令和 7 年 6 月 3 0 日（月）	1 4：3 0 から
第 3 8 6 回幹事会	令和 7 年 7 月 2 8 日（月）	1 4：3 0 から
第 3 8 7 回幹事会	令和 7 年 8 月 2 9 日（金）	1 4：3 0 から
第 3 8 8 回幹事会	令和 7 年 9 月 2 6 日（金）	1 4：3 0 から

●総会

第 1 9 4 回総会	令和 7 年 4 月 1 4 日（月）～1 6 日（水）
-------------	------------------------------